

株式会社 ITS MORE

2020年4月設立

ITS more

2020年9月30日 投稿者: SATOXITS

GShell 0.5.6 – WindowSurfer 0.0.4

基盤：残念ながら Windows Zero というのはさんざん既出でした。逆に Windows 2020のほうがレア。

社長：Windows 1-2-3 とかどうでしょうね。

開発：社名にちなんで Windows More とか。

社長：Winix とかどうでしょうね。

基盤：さんざん既出です。

社長：この際 Satox とでもしますか。

開発：Window Surfing とか。

基盤：ネットサーフィンっぽいですね。

社長：WindowSurfer は良いかもですね。少なくともデスクトップというかウィンドウマネジャーの名前としては。昔、キャッシングプロキシサーバでキャッシュサーファーと標榜してた事もあります。

開発：そういえば学生時代にスケートボードに帆を付けて遊んでましたっけ。

社長：では今日からこのこは WindowSurfer という名前にしましょう。まあ、幼名ってやつかもです。

命名：WindowSurfer2020

社長：早速ドメイン名を… ありゃ、.com は取られてますね。使われてはないようですが。Buy Now: \$5395 ですって。

経理：有りえません。

社長：じゃあ .net を 140円で。ぼちっと。

基盤：ネームサーバを設定。 WindowSurfer.Net、ただいま発足しました。

社長：今日はひと仕事終えた感ですね。一旦寝ます。

基盤：WordPressで「詩」ブロックのCSSを改訂しました。テストします。

一生を棒に振りし男此処に眠る。

社長：変なラベル貼らないでください。

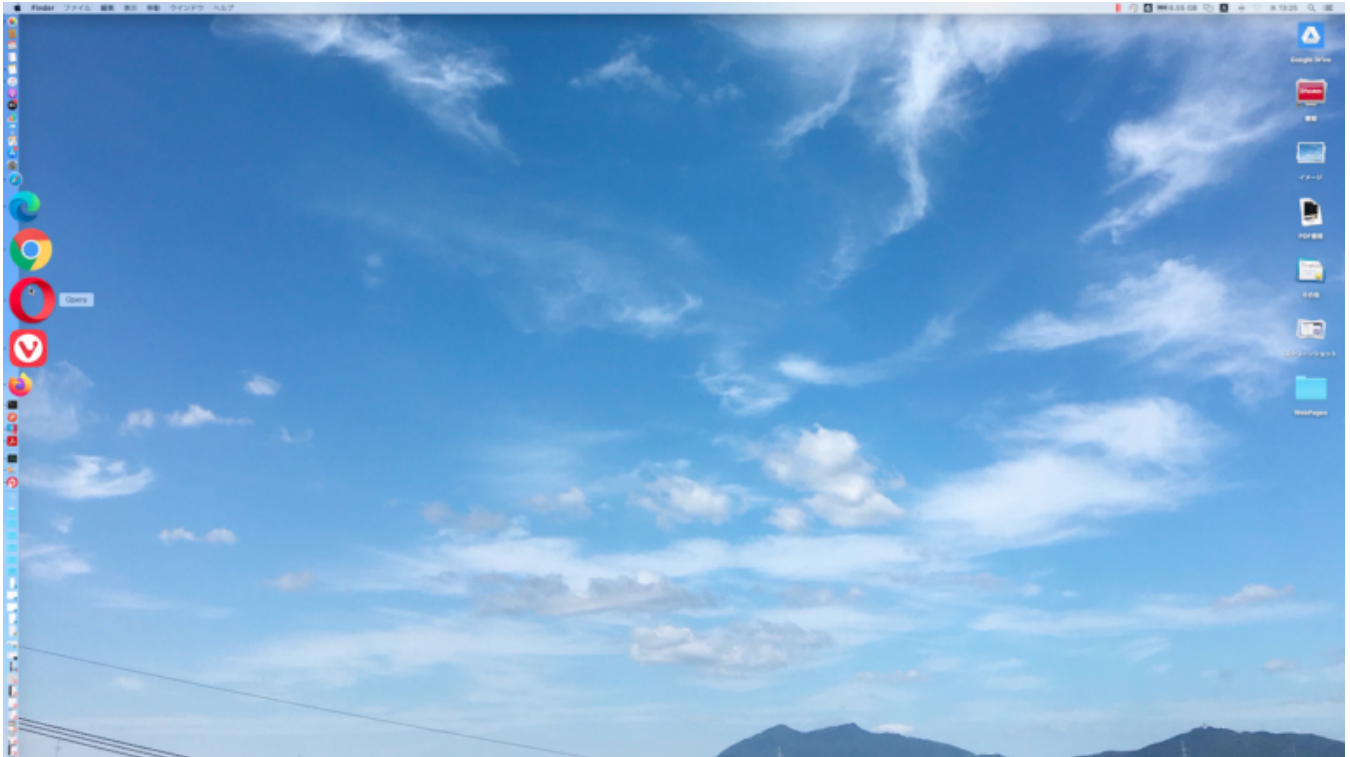
* * *

社長：今日も筑波山のほうによい空が出ています。

開発：夏には見なかった雲も出てますね。



基盤：では今日の壁紙はやや嗜好を変えてこういう感じで。



* * *

社長：タバコと缶ビール買ってきました。今日はウアの上に面白い空が見えなかったので隣のSHIMAZUさんをパチリ。



開発：つくば支店で何をやってるんでしょうね？なぜこんな住宅街に。

社長：SHIMAZU@AZUMAとか。

基盤：田中さんの開発した試薬とかをうあで先行販売してたら面白いです。

開発：あそこのロボット店員さんはSHIMAZU製かも知れませんね。

基盤：シマヅセイサク君とかですか。

社長：基本、分析装置の会社じゃないですかね。いずれにしてもうちが逆立ちしても買えるような製品ラインナップでは無い。

開発：田中さんのサイン会とかやったら絶対に行きます。

社長：ソフトウェアの質量分析計とか共同開発を持ちかけてみますかね。一緒にイグノーベル賞を目指しましょ

う、みたいな。

基盤：将来亡くなったあかつきには各支店にストーパーとか建立するんでしょうか。

社長：隣のH2より高い五重の塔を希望。

開発：コンパクトにビリケンさんみたいな形態に落ち着くんじゃないですかね。

基盤：H-IIが正式表記のようです。高さ50m。ちなみにせんぬきタワーは45m。

開発：あのダイヤカラーリングはなんとかならないですかね。それにあの記念公園はAZUMA3からつくば駅に到達する前の障害物っていう認識です。なんで斜めに突っ切れないのか。

社長：でも一度プラネタリウムには行ってみたいです。

経理：プラネタリウム券1000円だそうです。

基盤：まるめて2LSUですね。

開発：まるめて .net ドメイン代一年分ですか。

社長：まるめて生中2杯ぶんですね。

経理：まるめて40kWh、50Wで連続一ヶ月ぶんですね。

* * *

基盤：おや、もうこんな時間に。今日はまだ何も作ってませんが。

開発：どうも気合が入らなくてですね。

基盤：なにかこう、ぱーっとしたネタを。

社長：そうですね。自分を別のブラウザにドラッグ&ドロップして移動できるか？ってのはどうでしょう？

開発：盛り上がって参りました。

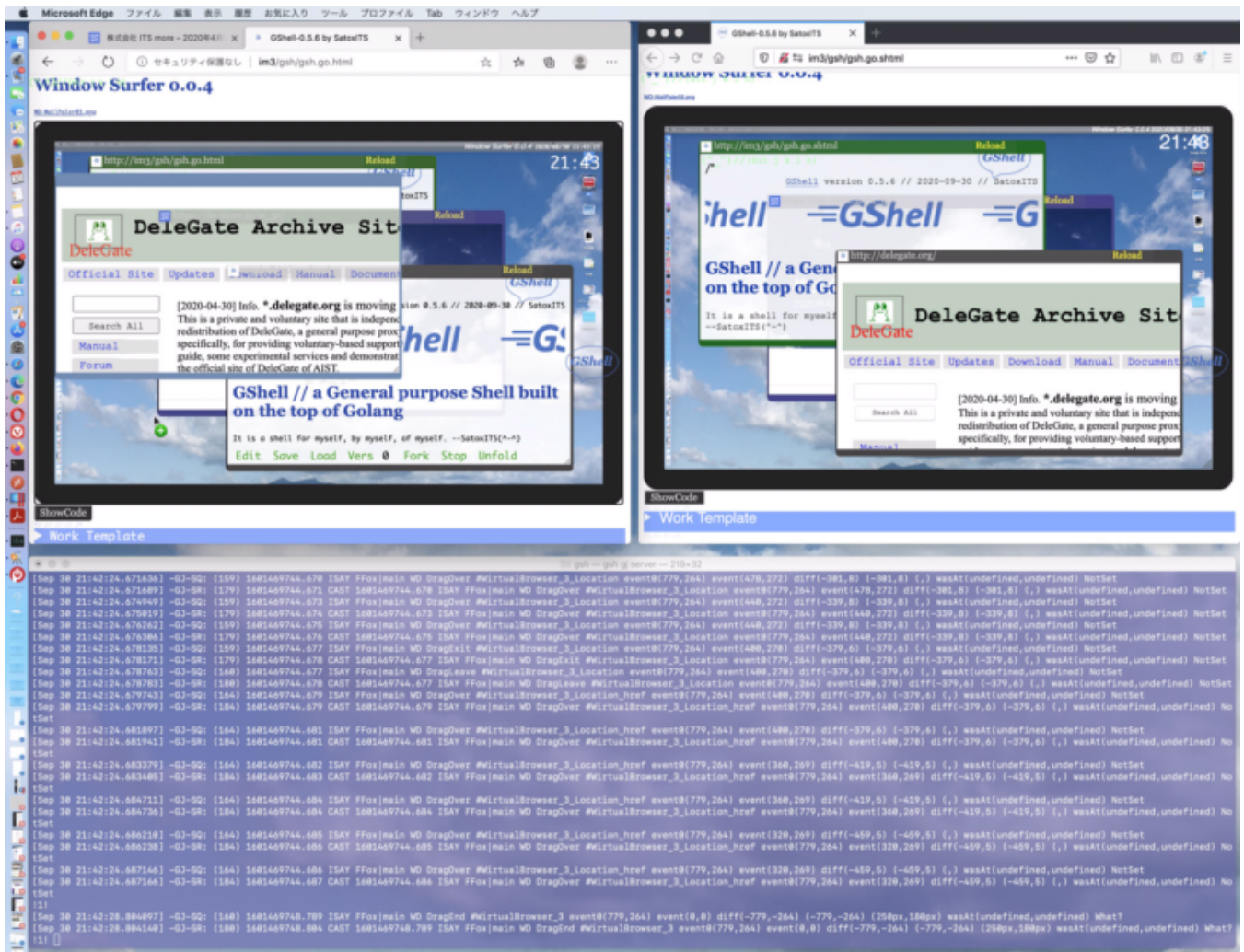
開発：ではまず準備。これはログを見ながらでないと効率が悪いのですが、各ブラウザごとにログ窓を開いて見比べるのが面倒で仕方ありません。気が乗らない原因の一つです。それで、ログは GJ Link に投げて、一箇所で見れるようにします。

ブラウザ間でのウィンドウ複製

開発：あら？

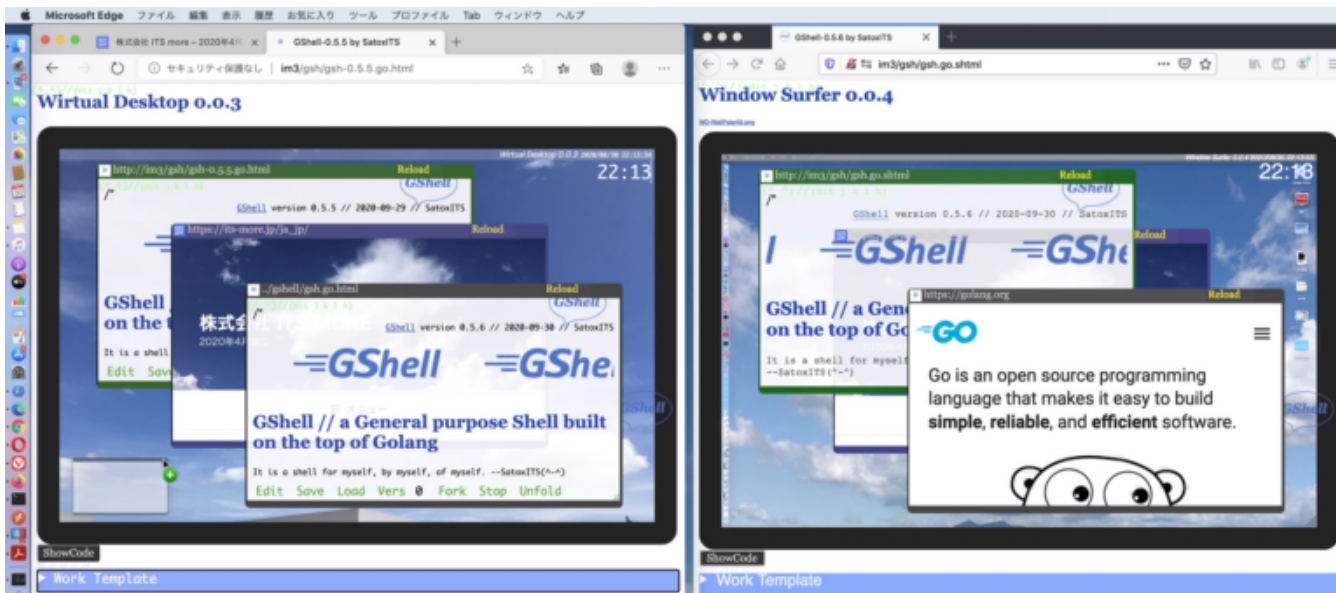
社長：何か？

開発：準備中になげにドラッグ&ドロップしたら、ウィンドウがコピーできてしまいました。



開発：左上が移転先と想定するEdge、右上が移転元のFireFox、下がGJ LinkサーバーのGShellの画面です。右上で何気にDeleGateのホームページをWirtual Browserで開いて、ドラッグして左上のEdgeの中の Wirtual Desktopにドロップしたら、コピーされて動いてしまいました。

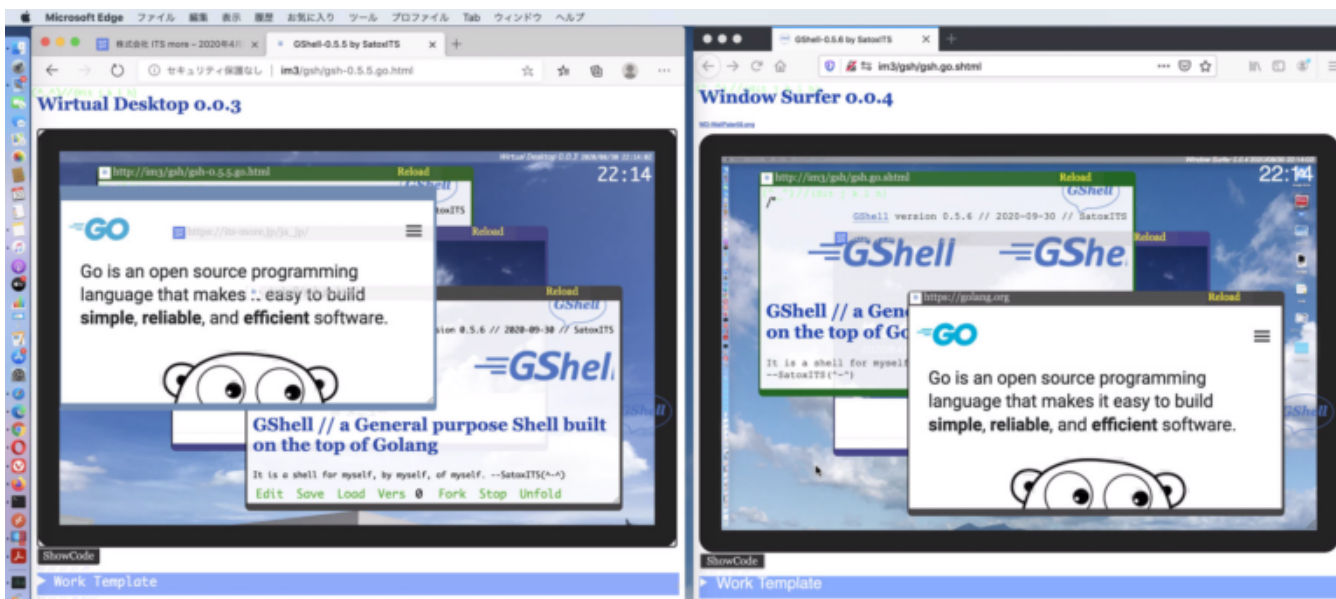
開発：確認のため、GJ Linkは落としてます。で、ドロップ先のEdgeは、昨日版のWirtual Desktop 0.0.3にします。で、右のFirefoxでGolangのトップページを開いて、左のEdgeにドラッグ。



①ドラッグ

基盤：ドロップ可能サインの緑丸+印が出てますね。

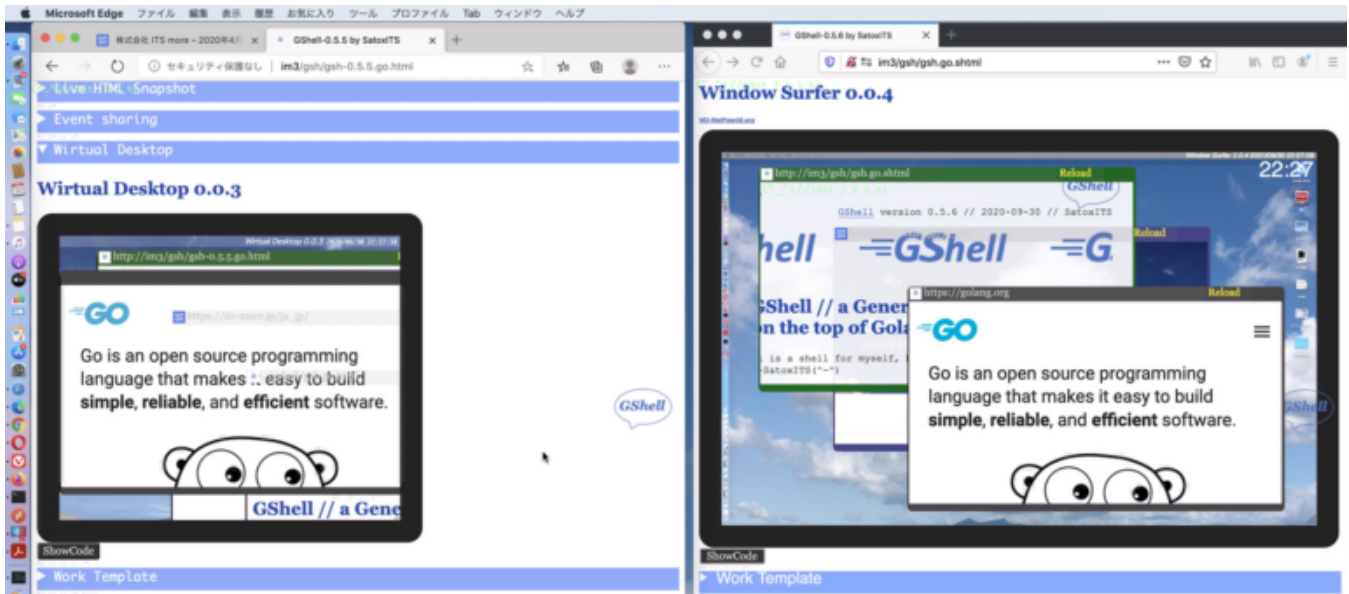
開発：で、ドロップする。



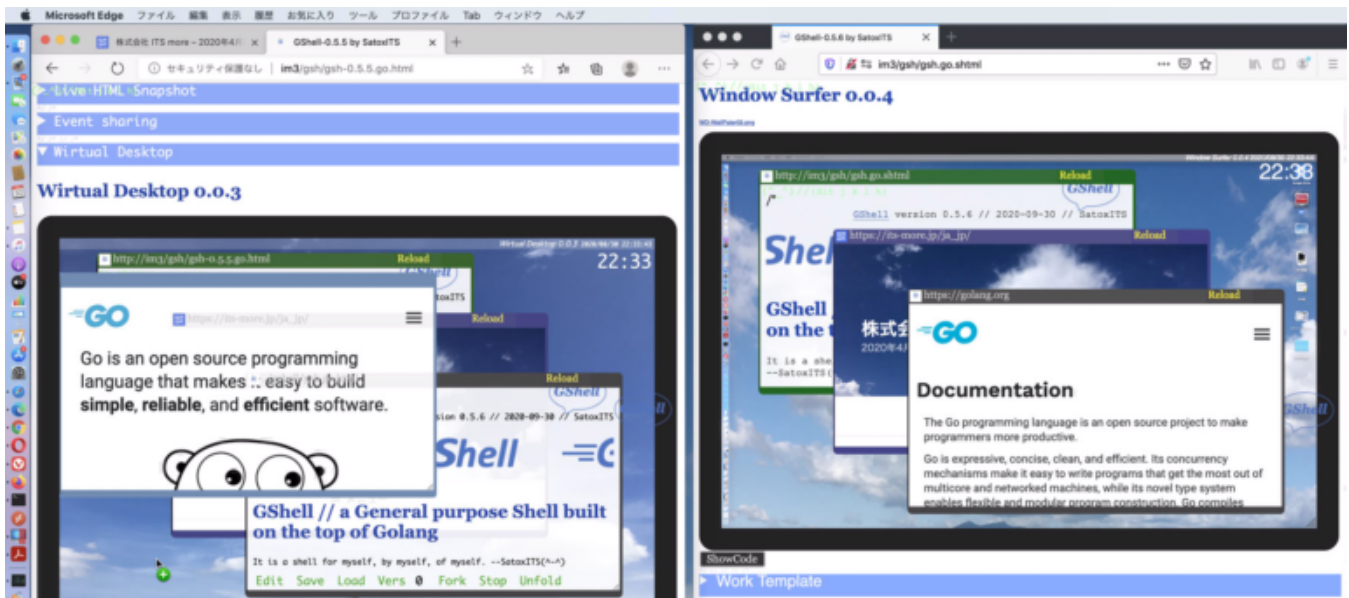
②ドロップ

社長、基盤：おおー。

開発：イベントリスナーとか各種スタイル情報のほとんどが伝わっていないようですが、WDのdivの下にあることは確かです。



開発：iframe内での状態遷移は伝わっていません。iframe の src と class だけがコピーされた感じです。



開発：状況から推測すると、こういうことです。Virtual Desktopはcontenteditableなので、ここでキー入力をするとそのままデスクトップが編集できます。外からプレーンテキストをドラッグ&ドロップすることはそれと等価だと思われます。その拡張として、HTMLテキストをドラッグ&ドロップできる。ということでは無いだろうか。

基盤：要するにクリップボードのようなものだということですね。

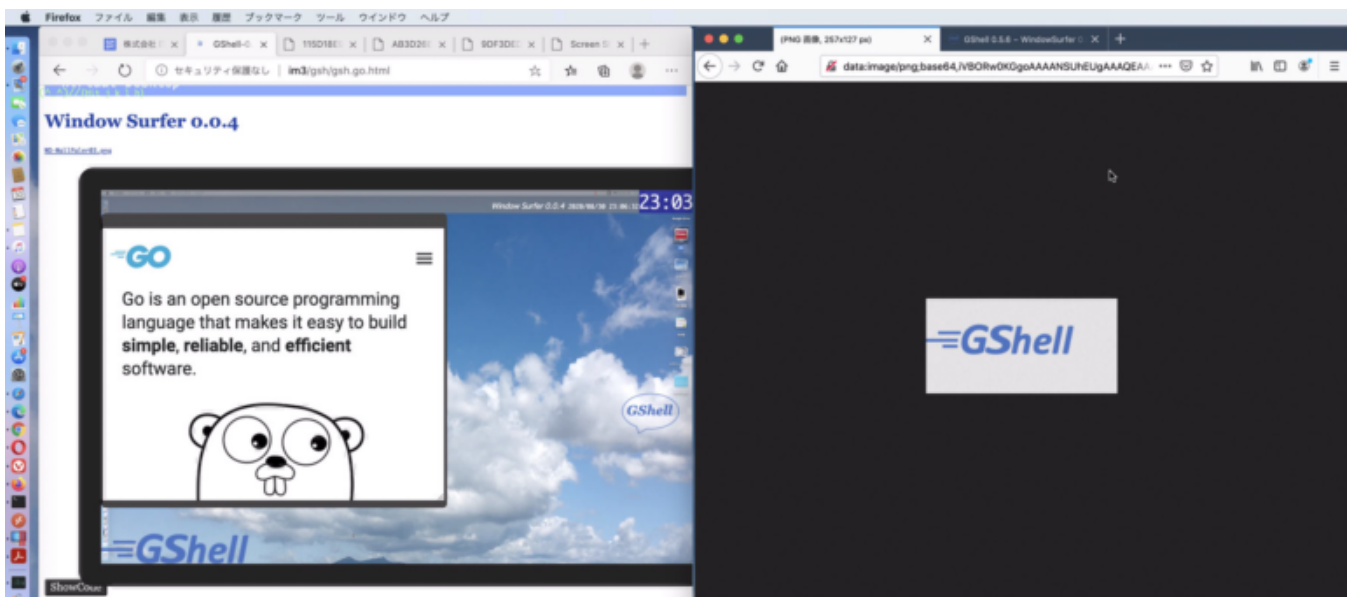
開発：たぶん。例えば今日のブログから、SHIMAZUをドラッグ&ドロップ。



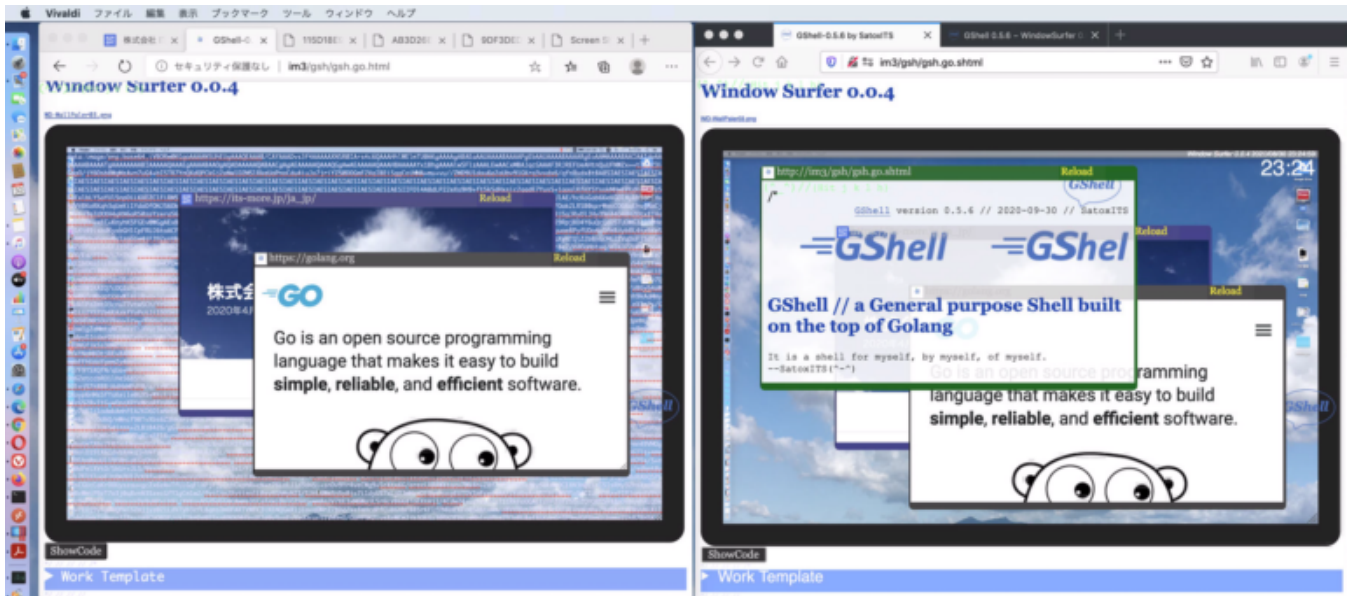
社長：なるほど… そう考えるればシンプルな話ですね。ドラッグ&ドロップというか、単なるコピー&ペーストでは無いかと。シンプルなので最強。

基盤：それってつまり、img も data URL でコピペできるって話ですかね。

開発：GShellのロゴは data URLですが、コピー&ペーストできますね。



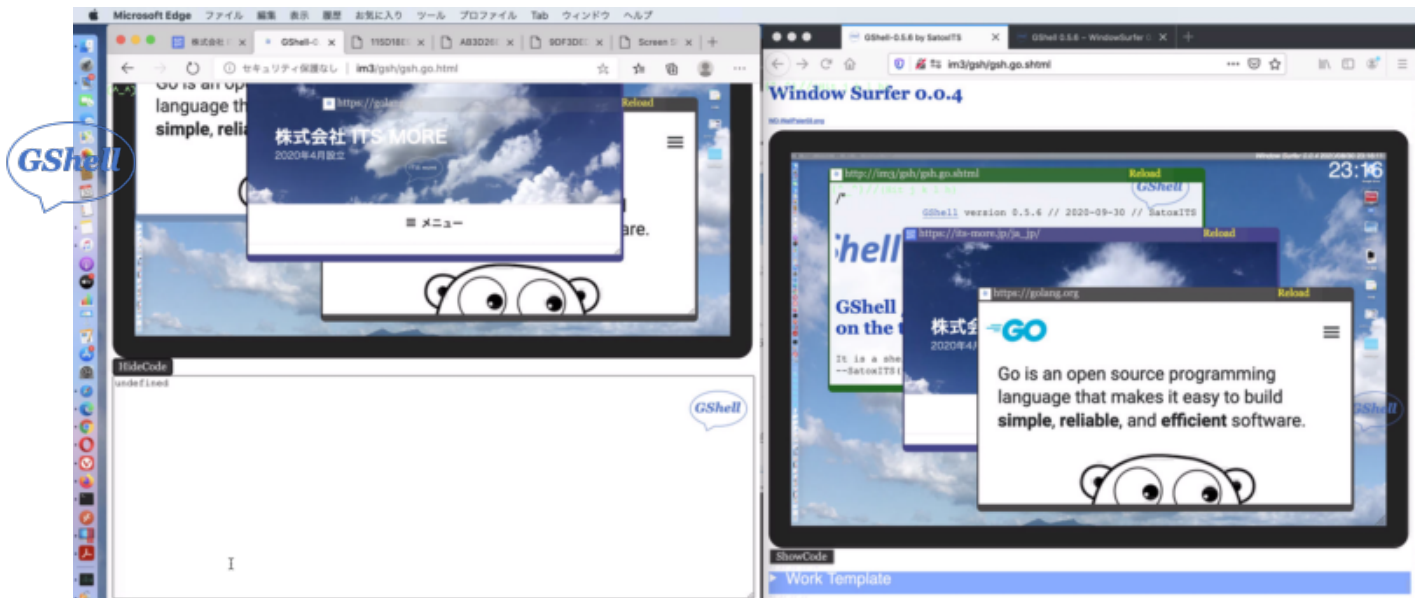
開発：ただ、コピーの場合、何がコピーされるかはドラッグの場合と違うようです。Golangのiframeの上でコピーしてペーストしたら、こういうことになりました。



基盤：もろに data URL ですね。Goのマスコットの画像データですかね？

(^_^)社長：なるほど。だいたいわかりました。いずれにしても、Virtual Desktopの現在のDOM内容をHTMLダンプしてみればタネも仕掛けも明らかになるということですね。

開発：実際最初にそれで覗こうとおもたのですが、ペーストのショックでJavaScriptの変数からエレメントへのリンクが飛んでしまっているみたいで、覗けなかったという次第です。まあ、ちゃんとgetElementById()して探し直せば見つかると思います。



基盤：ブラウザのインスペクタで覗けば良いのでは。

開発：それだと敗北感が・・・

社長：あとは、自作でGShell内蔵専用のクリップボードを作るとよいですね。

開発：そうしましょう。

社長：ビジュアルにコピペとかドラッグ&ドロップできるのは、操作モデル的には良い事だと思います。問題は裏にあるデータを全部ひっぱってはいけない事ですね。

開発：なので、それはGJ Linkで裏方根回しをすればよいのだと思います。こういうのが窓から降って来たけど、これはなんのつもりですかというように。

社長：オブジェクトにユニークIDをふる必要があります。

開発：それと、この動作は今のところ、FirefoxからChromium系へのドラッグ&ドロップでしか観察されていません。しかるべき環境、おそらくドロップエリアの設定をしてないからでは無いかと思われます。

基盤：ついに表舞台と裏舞台が連携する実用例ができそうですね。

開発：でも、なんだか疲れたのでまた明日ですかね…

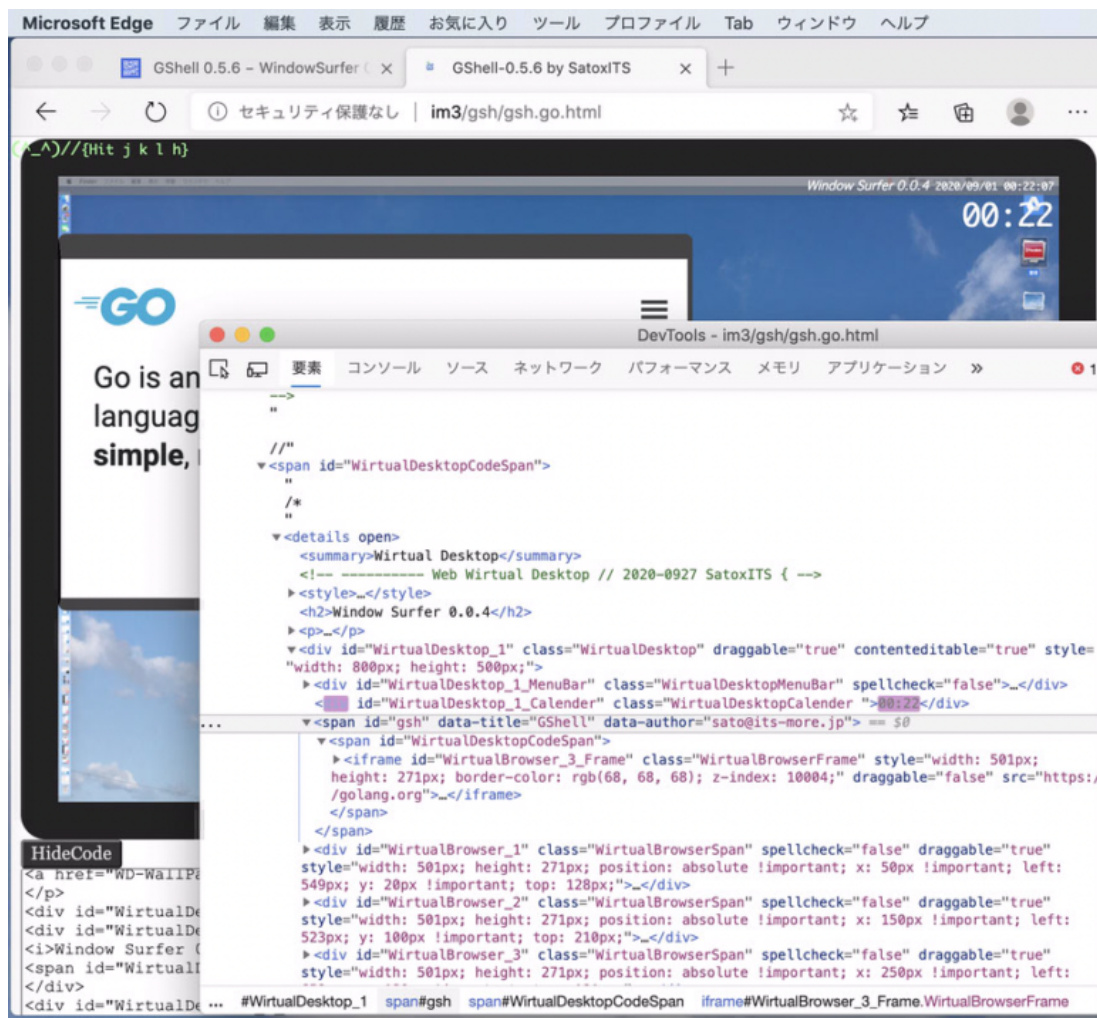
社長：ここでまた血圧を測定。おー、やっぱり上がってます。

基盤：血圧計が久しぶりに稼働してますね。

社長：明後日の女医さんとの対決に備えてグラフを書いています。

ブラウザが投下していったものは

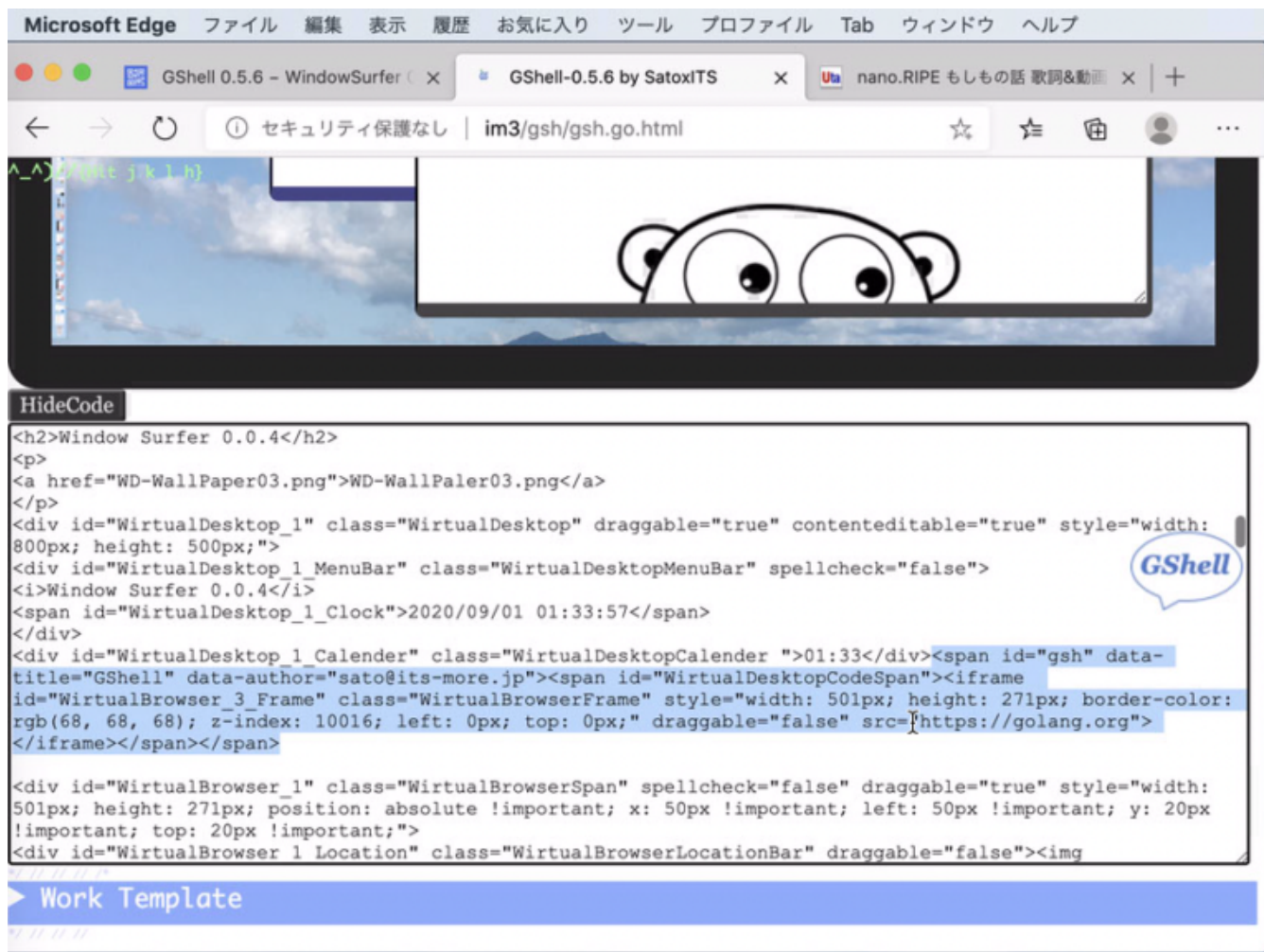
開発：やはりどこに何を落としていったのか気になるので、インスペクタで覗いてみました。こういうことでした。



開発：ということで、落下物の本体は src の指定された iframe でした。これはまあ当然ですが、たぶん出発地の z-index 付きなのがやや不思議です。なぜこのポイントに投下したのかも。あと、ちゃんとオリジナルの id 付きで来ているので、これを一意 ID にすれば、身元確認を GJ Link 系で出来ます。

基盤：投下先の id の重複とか調整しないで置いてっちゃうんですね。

開発：自前イスペクタで見れなくなっていたのはそのためでした。今は直したので、ちゃんと読めます。



基盤：このビューアで編集したのを実際のDOMに反映できると良いですね。

開発：それはGJ Factoryのテーブル編集でもやりましたし、できると思います。ただ、JavaScriptを反映させるのは制約があるかも。

基盤：evalすればなんでも行けるんじゃないですかね。

開発：それで、投下物の包み紙は、最外核の id=gshから中間の id=WirtualDesktopCodeSpan のたまねぎ状です。で、gshのほうにつけてあるユーザ定義の data-author="sato@its-more.jp" も付いて来てますから、ここに電子署名を入れておけば認証とアクセス制御が可能です。

社長：HTML電子署名の内蔵方式はいくつか検討してペンディングでしたけど、タグのdata-*属性に入れ込むというやり方が有力になりましたね。大体見えて来ましたので、あとは明日の楽しみにしましょうか。

* * *

基盤：終業にあたり、シメの詩をどうぞ。

社長：はあ。ではバクマンのエンディング Moshimo No Hanashiより借用。

目指す場所があまりにも遠く
 ぼくはもう道に迷いそうだ
 壊れた磁石をあてにしてるんだ
 だれかの影に隠れてさ

開発：影にしてくれる誰かはいないですけどね今。

社長：バクマンを見てた当時はこれが心に刺さったもので。今は隠れる必要もなくなりました。

基盤：全体を読むと一貫性の無い歌詞ですね。

社長：まあ前言撤回の詩ですしね。道を迷うから思わぬ所へ行ける。このブログそのものです。重要なのは曖昧さと柔軟性を持つスジだと思います。

開発：憧れてたのは空じゃなくて、空を見てたあのこダー♪

-- 2020-0930 SatoxITS

GShell 0.5.6

[gsh-0.5.6.go](#) [ダウンロード](#)

/** /**

GShell version 0.5.6 // 2020-09-30 // SatoxITS

≡GShell ≡GShell ≡GShell ≡

GShell // a General purpose Shell built on the top of Golang

It is a shell for myself, by myself, of myself. --SatoxITS(^-^)

[Edit](#) [Save](#) [Load](#) [Vers](#) **0** [Fork](#) [Stop](#) [Unfold](#) [Digest](#) [Source](#)

/ /

▶ Statement

/ /

▶ Features

/ /

▶ Index

/ /

> Go Source

//
> Considerations

// /*
> References

/ /
> Raw Source



/ /
> GJ Console

/ /
> Form Auto. Filling

/ /
> BlinderText

/ / */ // //
> Golang / JavaScript Link

/*
> GJ Link

/ / */ /*
> Live HTML Snapshot

/ /
> Event sharing

/ / // /*
▼ Wirtual Desktop

Window Surfer 0.0.4

[WD-WallPaler03.png](#)



< / / / / *

Work Template

* / / / /